
山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第38号（通巻第105号）

2005年5月31日

山梨大学教育人間科学部

附属教育実践総合センター

TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790

E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp

URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

■ 平成17年度第1回教育実践総合センター運営委員会報告

平成17年度第1回教育実践総合センター運営委員会が、5月19日（木）16:30～17:40にセンター会議室にて、岩永委員長、岡村、服部、藤田、小島、高橋、荻野（附小）、澤登、鳥海、成田、山下、永井（客員教授）、山本（客員教授）の各委員の出席のもとで開催され、以下の項目の議事が執り行われました。

● 報告事項

- － 新規客員教授として山本紘典氏の採用
- － 教育実践研究部門専任教授に澤登義洋氏の着任
- － センター紀要・センターニュースの発行および配布状況について
- － 平成15、16年度地域貢献特別支援事業、平成17年度山梨大学地域貢献特別支援事業（山梨大学・山梨県新規連携）、平成18年度山梨大学「戦略的プロジェクト経費」地域貢献事業支援プロジェクトについて
- － 平成18年度のセンター開講科目の非常勤講師削減案について
- － 平成17年度内地研究員として成田委員の派遣（横浜国立大、7月より9ヶ月間）
- － 事務補佐員として廣瀬晃久氏の継続採用

● 協議事項

- － 平成17年度センターの事業について教育実践研究部門、情報教育研究部門、教育臨床研究部門の各部門から説明があり、審議の結果、これを承認した。
- － 平成17年度センター研究協力者の選出について説明があり、審議の結果、原案どおり承認し、次回教授会に提案することとした。
- － 平成17年度センター施設設備利用委員会委員の選出について説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

■ 平成17年度第1回期間採用者等研修のお知らせ

本年度第1回期間採用者等研修会を下記の要領で開催します。これは主に期間採用者を対象としたものですが、学部生の参加も歓迎します。教員採用試験を受けようという学生には是非参加を呼びかけて下さい。参加にあたっては、人数把握のためできるだけ事前申し込みをするようお願いいたします。プログラムの詳細や申し込みのページは実践センターホームページにあります。

- 日時：平成17年6月4日（土）9:30～15:30（一部 17:30）
- 場所：山梨大学教育人間科学部 J号館 5階 A会議室
- 内容：
 - － 教科等指導法基礎研修「児童・生徒をひきつける授業の工夫」
 - － 学級経営「児童・生徒理解と学級・ホームルームづくりへのヒント」
 - － 前年度受講生からのメッセージ
 - － 教職の基礎知識「教職に役立つ教育法規・制度の知識」

なお、この期間採用者等研修は本年度も計3回、次のような日程で開催する予定です。

第2回： 8月5日

第3回： 12月3日

■ 教育実践研究会のお知らせ

- 日時：平成17年6月16日（木）16:30～18:30
- 場所：山梨大学教育人間科学部 J号館 4階授業研究演習室
- 講師：中村享史氏（本学教育人間科学部数学教育講座・教授）
- 演題：米国の算数授業研究の現状
- 内容：近年、わが国のすぐれた教師教育（教員養成・教員研修）の方法である「授業研究」(lesson study)が、米国の研究者の間で関心が高まっています。また、米国の算数・数学の教師たちが、日本の学校や米国の日本人学校の公開研究会に参加したり、学校を訪問し授業研究会に参加したり、日本の力量の高い日本人教師や研究者を米国に招き授業研究の方法を学んだりしています。今回の教育実践研究会では、このような教育実践の米国への協力について経験の豊富な中村氏を迎え、米国における算数授業研究の現状をおききする機会を得ました。この会では、米国における授業研究の受け入れ過程から見えてくる、わが国の算数・数学の授業や教師教育のすぐれた点、改善すべき点などが浮き彫りになるであろうと考えます。

大学の教職員に限らず、学生や、一般の方等、このテーマに興味をお持ちの方はどなたでも参加できます。多数の方々の参加をお待ちしております。なお、参加料は無料です。